



# 広報みまた



沿道に声援をうけて

日本のふるさと宮崎国体の炬火は  
10月10日から11日にかけて  
山之口町から受け継ぎ  
沿道で町民の声援を受けながら  
町内を一巡し  
北郷町に無事  
引継がれました。

54 / 11月号

# 宮崎国体で堂々



# の演技

## 上米棒踊り

スポーツの祭典、第三十四回日本のふるさと宮崎国体秋季大会は天皇、皇后の御臨幸を蒙り、県民の心に忘れられない数々の思い出を残しながら、十月十九日大会の幕を閉じました。

十月十四日天皇陛下をお迎えしての開会式、全国から集まった選手や役員の数は一万余人、本県八百五十人の大選手団の堂々の入場行進に満員のスタンドからは、拍手の波が続きました。

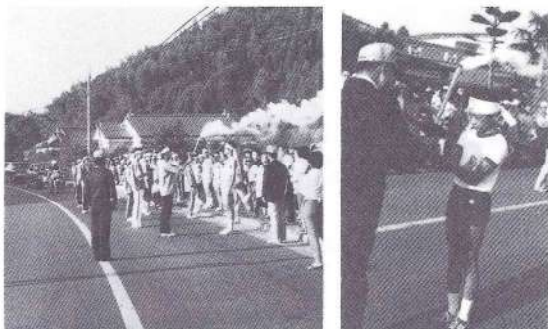
開会式前の集団演技に、本町の上米地区棒踊りが出場し、日本のふるさと宮崎国体の名にふさわしい郷土芸能を披露しました。

四十八名の踊り手による壮烈な棒踊りは、緑の陸上競技場に美しく映え、観衆からは感嘆の声が湧き上り、私達の郷土三股の名を、満員のスタンドにとどめてくれました。

## 声援を受け炬火三股路を

十月八日県南コースの国体炬火は、雲峰霧高山で太陽光線より採火され、諸県の市町村をリレーしながら十月十日体育の日に三股入りしました。

十月十日午後四時、豊池の前村ドライブイン前で山之口町より引継がれ、勝岡のこぼと保育所前まで勝岡小の生徒の手によって、片之坂商店前までは榊山青年により



運ばれ、下新までは農協三股支所の職員によって、役場までは三股小の生徒の手によって運ばれました。沿道には多数の町民がつめかけ、走者には盛んな声援を送っていました。午後五時役場に到着した炬火は、その日のうちに前日役場に到着していた町の灯と合火され、安全灯に移して大会旗や小旗と共に役場に宿泊しました。

翌十月十一日は午前九時に役場をスタート、三股中の生徒によって梶山入口までそこから切寄まで梶山小の生徒によって運ばれ切寄から天木野まで自動車輸送、天木野から高野まで長田小の生徒、そして矢立トンネルまでは自動車輸送し北郷町長に無事引継がれました。一方町の灯は十月九日宮村小学校運動場の東にある通称櫓ヶ丘で、太陽より採火され、採火式において町長がこの灯を町の灯と名付けました。



## 秩父宮妃殿下 軟式野球を御観戦



尚炬火及び町の灯のラリーに参加したチームは次のとおりです。

勝岡小 財部浩三他二十一名  
榊山青年 原田信孝他二十一名  
農協職員 本村正美他  
三股小 下沖忠広他  
三股中 黒島原浩二他  
梶山小 山之内祐二他  
長田小 年神健一他  
町の灯  
宮村小 国分 至他二十名  
宮村小 隈元俊博他



十月十六日秩父宮妃殿下が本町旭ヶ丘運動公園野球場で国民体育大会の成年男子軟式野球を御観戦になりました。

午前九時に県皇室接待係の案内で野球場に到着され、町長に案内され貴賓席へお着きになりました。妃殿下は町長に親しく御言葉をおかけられ、球場の施設、設備の内容など御質問になりました。

そして整備された施設をおほめになり約三十分の御滞在も無事終えることが出来ました。

# 上原豊作氏に文化賞 八人の功労者も表彰

本年度の文化賞及び功労者の授賞式が、十一月三日文化の日に牧場に於いて行われました。文化賞には、永年家畜診療所で獣医師として職務に精励されている上原豊作氏が選ばれました。上原氏は昭和三十六年より、本町の家畜診療所に勤務されて以来現在まで、家畜の防疫、治療に専念され、畜産農家の信望も厚く、その技術は高く評価されています。特に昭和五十年から五十一年に大



流行した子牛の白痢症は、畜産農家に大変心配を投げかけたのですが、氏の日夜を分かたない努力と研究の成果によって最少限に食い止められたことは、未だ記憶に新しいことでもあります。また氏は、昭和四十八年牛の泡沬性發熱症の治療法について発表され、全国農業共済協会会長賞を受賞して昭和五十一年子牛の白痢について発表され、同じく全国協会会長賞を受賞、翌昭和五十二年には子牛の白痢の予防について、九州獣医師大会で発表され、大会長賞を受賞されるなど、数々の功績をあげられています。また一方今年四月より施行された三股町表彰条例に基づいて、八名の方々がそれぞれ功労賞を受賞されました。これらの方々は人の中にあつて地道な活動を長い間続けられた方、地域の振興に寄与された方、また地域の良き相談相手となつて団体の育成に精励された方々、更に各種の役職を通じて地方自治の発展に貢献された方々であります。

- 受賞者は次のとおり  
文化賞 上原豊作氏 (58) 功労賞 大崎重氏 (57)  
農業委員として永年にわたり農業行政に貢献  
功労賞 楠見吉雄氏 (65)  
助役として永年にわたり地方自治振興に貢献  
功労賞 櫻元利行氏 (76) 固定資産評価審査委員として二十年以上町財政に貢献  
功労賞 去川 衍氏 (76)



収入役として永年にわたり地方自治振興に貢献  
功労賞 平田武雄氏 (69) 和牛の飼養技術の普及及び和牛部会の発展に貢献  
功労賞 森 正一氏 (63) 永年にわたり土地改良事業の推進及び協会の充実に貢献  
功労賞 山元忠博氏 (64) 町議会議員として永年にわたり地方自治振興に貢献  
功労賞 和田重記氏 (69) 町議会議員として永年にわたり地方自治振興に貢献

## 氏正畑桑故

### に眠りかなる安

九月七日町議会上に於いて、名誉町民の称号を贈られた桑畑正一氏(71)は去る十月八日午後十時三十五分悲しくも永眠されました。

私達町民は今改めて氏の今までの数限りない御功績と御労苦に対して深く感謝の誠を捧げ、永遠に安らかな御冥福を心からお祈り申し上げます。



故桑畑正一氏は、明治四十一年山玉原に生を受けられて以来、焼酎の醸造に専念されるかたわら、昭和十七年三十四才の若きで村議に初当選、以来政界人としてその崇高明断な手腕によつて他の追随を許さず、本町だけでなく、県下各市町村を始め本県の発展のために尽力された方でありました。特に昭和二十二年から十六年間にわたる県議会議員としての御功績は町民等しく認めているところでありました。その他町商工会長、町消防団長をはじめ町農業協同組合長、県農



協連会長など、各般にわたつて高度な識見と、明敏誠実な資をもつて事業を推進され、本町の今日の発展の基礎を築いて戴いた方でありました。

- はとめどもなく続いていました。
- 故桑畑正一氏の略歴
- 昭和三年 明治大学卒業
  - 昭和十七年 22年 村議会議員
  - 昭和二十二年 38年 県議会議員
  - 昭和二十一年 町消防副団長
  - 昭和十八年 20年 町商業組合長
  - 昭和二十年 22年 町商工会監事
  - 昭和二十一年 25年 町農会会長
  - 昭和二十二年 25年 町農協連会長
  - 昭和二十五年 28年 町農協組合長
  - 昭和二十年 消防団発展に尽力した功績により知事表彰
  - 昭和32年 県議として永年地方自治の発展に尽した功績により全国議長会表彰
  - 昭和53年 地方自治功労者として勲五等双光旭日章受賞



式場には町内は勿論、県、県議会議員をはじめ、県内各市町村の関係者等五百名余が参列し菊の花に飾られた遺影の前で氏との最後のお別れを惜しみながら焼香の列



### 友愛……仲よし

仲町の林義照さん(72)宅に、珍しい碑が建てられています。  
この碑は林さんが仲町老人クラブ(会長比江島一夫)の深い友情をいつまでも大切にしたいという願いをこめて建立されたものです。仲町老人クラブは、塚原児童公園の一角にゲートボール場を設置していますが、朝夕の練習の後で必ず公園の掃除をしています。そして隅に花壇を設けて、四季折々の情趣が人々の心を和ませてくれます。

### 消防団員に感謝状 永い間御苦労様でした

本町では永い間消防団員として活躍され、今回退職された方々に感謝状が贈られました。これらの方々には5年以上、永い人で27年もの間本町消防団員として、あらゆる災害に率先して出動され、本町の財産、人命の救助に尽力された方々です。各氏の今までの御苦労に感謝すると共に今後の御精進を期待します。

本 部	部長	川野道治(山王原)
第1部	班長	池田 繁(山王原)
第2部	班長	才田正弘(東 原)
第4部	団員	中野春美(中野)
第5部	班長	別納軍一(田 上)
第6部	団員	福富光清(餅 原)



### 交通安全を祈り 全県下をリレー

第34回国民体育大会の成功を期し、同時に県民の交通安全に対する意識を高めるため、交通安全市町村リレーが行われました。これは県南と県北の二つに分けてパレードをしながら、片目だけ入ったダルマに、各市町長が署名して交通安全思想を高めることを誓い合ったものです。  
本町では去る10月31日に五本松団地東の交差点で単車とトラックが出合い頭に衝突し、71才のお年寄りが死亡されるという事故が発生しました。お互いに交通のルールは正しく守るように心がけ本町から事故や違反者を出さない様に努めましょう。



### 防犯リレーも実施

全国防犯運動の定着化を図り、県民一人ひとりの防犯意識の高揚を目指し、併せて「日本のふるさと宮崎国体」と「全国身障者スポーツ大会」を成功させる目的で、防犯リレーが行われました。  
10月1日、役場玄関前で山之口町から引継がれた、防犯声明文を桑畑町長が読みあげ、防犯に対する認識を高める運動を展開する旨を披露しました。その後町内を約2時間パレードして都城市に引継ぎました。  
これから年末にかけて、空き巣ねらいや、おし売りなどの被害が多く発生しそうです。くれぐれも御用心を。



# 町 の 話 題

### いもほり大はしゃぎ

本町のサップ会議(理事長上石成久会員15名)では蓼池の原口利男氏の畑7アールに、6月10日植付けた甘藷(ことみき)がこの程実り10月12日、土の日(同6日)を見直す目的で、町内の園児約200名に呼びかけいも掘り大会を開催しました。園児の中には初めてのいも掘りに大はしゃぎ。保母の先生共々いっしょう懸命に興じていました。



### 葉たばこの出荷初まる

みのりの秋、葉たばこの出荷が始まりました。本町には現在73戸の葉たばこ耕作者がおられ、平均75アール、町全体で54ヘクタールの葉たばこが作付されています。  
今年の葉たばこは、前半に干天が続いた上、中半に長雨が続き、作柄は例年をやや下廻ったようです。それでも丹精をこめて栽培しただけあって、生産者はきれいに選別された葉たばこが、一袋づつ等級が決められる鑑定官の厳しい審査に見入っていました。



### 第七期和牛品評会

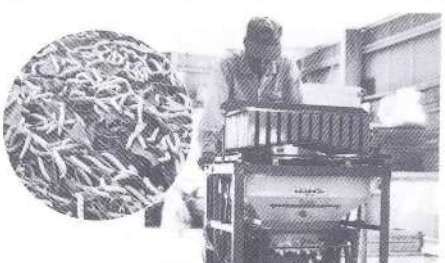
今年最後のせり市(12月)に出品する第7期の和牛品評会は、11月5日畜産センターで開かれました。10月のせり市は史上2番目の高値を記録したので、今回はそれ以上の高値が期待されています。  
成績は次のとおり(子牛優等のみ)

牝の部	園田鎮也(小)	木下勇夫(上米)
	下牧武夫(餅原)	小牧春男(轟山)
	宮田重雄(靄山)	溝口民男(靄山)
	西ヶ野利男(中米)	
去勢の部	別納行雄(田上)	別府義彦(餅原)
	川原清徳(上米)	上ノ國忠臣(蓼池)
	岩崎あや子(大野)	竹町清吉(中米)



### 初冬蒭もうすぐ出荷

長田の長原の丘には養蚕団地がありますが、晩々秋蒭はもうすでに蒭となって出荷を待っています。  
5月の春蚕から10月の初冬蚕まで、年6回の飼育を行っている宮田さん宅では、現在、今年最後の初冬蒭が出来る段階です。身長約2ミリメートルのこいこいが3週間後には約7センチメートルにも成長し、それから約3日間で立派な蒭が出来あがります。飼育期間が短かくて効率的な経営が出来るのが養蚕経営の特徴です。

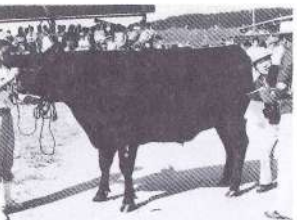


# 最優秀賞に久保康弘氏

## 児玉環氏も優等賞

第三十一回県畜産共進会

第三十一回県畜産共進会は、九月二十七日から十一月一日まで、県下三会場で行われ、本町は例年になく素晴らしい成績を納めました。本町は農業経営の安定を図るため近年特に畜産振興を進めていますが、特に資質の改良を主軸に、素牛の系統を刷新し、都城牛の確立のためにあらゆる施策を講じて来ました。



優等賞を獲得した児玉さんの牛

枝肉共進会風景



断する指針として、畜産農家にとってその期待は大きなものがあり、各関係機関からも注目されていきました。今回の好成績は本町にとっては大変喜ばしいことであり、町畜産課や農協の技術員も、自分達の努力が報われたよこびをかみしめていました。各部会とも全会員が出場牛の応援にかけつけていましたが、本町の飼養技術が黒レベルまで向上したことを認め合い、改めて自信を得た様子でその喜びもひとしおのようでした。

- ▽肉牛生体の部
  - 優等賞 児玉 輪 飯屋
  - 一等賞 本村春男 飯屋
  - 二等賞 北村喜之助 蘆池
- ▽和牛の部
  - 一等賞 黒木正一 飯屋
  - 二等賞 小牧八平 飯屋
- ▽乳牛の部
  - 一等賞 北畑和徳 蘆池
  - 優良賞 黒木崇光 梶山
  - 努力賞 大村清水 上米
  - 努力賞 上石治行 谷



### 残念!! 雨で中止

町民体育大会

十一月四日旭ヶ丘運動公園陸上競技場で行われる予定だった、町民体育大会は、残念ながら雨で中止になりました。

町民体育大会は、朝から少し小雨の舞うあいにくの天候で、開催が危ぶまれていましたが、それでも各地区の選手、役員は早朝から多数参加し、開会式は小雨の中で予定通り行われました。午前十時、小学校低学年及び高学年のリレーはどうにか実行できたものの、十時三十分頃から雨も激しくなり、グラウンドは最悪の状態、緊急役員会、執行部の協議により中止の決定がなされました。誠に残念でしたが来年を楽しみにしたいものです。

# 秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日



## 仲たがいで火は消える

### 火の三要素

十一月から三月にかけての冬場は石油ストーブなどの暖房器具を使うことから、一年のうちでも最も火事の多い季節です。火災の原因をみますと、暖房器具の中で一番多いのは、なんといっても石油ストーブです。本町でも今年も火災が多く、現在まで六件の家屋火災と、一件の山林火災で、相当な損害をこうむっていますし、一名の尊い命も失っています。今年も十一月二十六日から十二月二日まで、全国火災予防運動が行われます。そこで火を消すための三つの基本について考えてみました。

火が出る—ものが燃えるためには、「燃えるもの」と「空気(酸素)」と「熱」が必要です。これは、いわば火の三要素といえます。このうち、どれか一つでも欠けると、物は燃えません。つまり火を消すということ、この燃える三要素のどれか一つを取り除く、あるいは、シャ断してやればよいということです。わたしたちは、ふだん家庭の台所などで、毎日、火をつけたり消したりしています。このような点火火々火火々のしくみは、別の言い方をすれば、燃える三要素

を組み合わせた、り、仲たがいがいっせたりしていることになるのです。消火のコツも、ここにあります。消火の方法は、この燃える三要素に見合った三つの形が考えられます。つまり、三要素のどれか一つを初期段階で、仲たがいがいっせたのです。

### 空気(酸素)を断つ

#### 窒息消火

天ぷらをあげていて電話がかかり、うっかり長話になって戻ってみると、なべに火がはいつている—こんな時とときに、なべにフタをする—酸素が断たれ、火は消えます。また、倒れた石油ストーブが燃えだしたときは、シートなどを水にぬらしてかべせると消すことができます。このような消火方法が、窒息消火です。



### 熱を下げて消す

#### 冷却消火

火事と聞いたら、まず「水—」と反射的にピンとくるほど、水は冷却消火のチャンピオンです。また、天ぷらなべに火がはいつたときなど、手近にある野菜を入れるのも冷却消火の一つの方法です。

### 燃えるものを取り除く

#### 除去消火

例としては、ガス火災のときなど元せを閉めて火元を断つたり、山火事るとき、周囲の木を切って延焼を防ぐ場合などがあります。



# 子供の頭痛



これから冬に向かつて、かぜひきが増えてきます。かぜに頭痛はつきもの、頭痛が痛いときは

まず検温——熱をはかりましよう。

▽子供が「頭痛が痛い」というときは、たいてい熱があります。静かに寝かせて、体温をはかりましよう。頭痛薬などをやたらに飲ませないことです。

▽検温と同時に、他の症状を観察することが大切です。

子供の頭痛で最も多いのは、へんとうせん炎とか、一般にかぜといわれるウイルス性の病気です。しかし、はしかやしようこう熱などのこともありますので、全身をくまなく観察して下さい。



▽鼻水やせき、くしゃみなどを伴う単純なかぜの場合は、休養が第一。十分な栄養と睡眠でたいいは治ります。それでもなお頭痛や熱が続くときは、医師の診断をおおきましよう。

また、急に高熱が出たり、ひきつけをおこしたり、発疹や吐き気、激しい腹痛が伴う場合は、早く医師にみてもらいましよう。

▽ぞくぞくするような寒気——悪寒は要注意です。直後に高熱を発することがあります。三十八度以上の熱が出たときは、水まくらなどで冷やましよう。また、ぬるま湯でタオルをしぼり、からだをふいてあげるとも熱が放散されるので効果があります。

## もうすぐ年末調整

十二月は、源泉所得税の年末調整の月です。

年末調整とは、毎月の給料から徴収された税金の一年分を精算することです。この年末調整が誤りなく行われるためには、勤務先に扶養親族などの申告を正しく行うことが大切です。

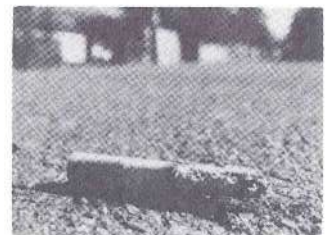
今年になって結婚したり、赤ちゃんが生まれた方など、年途中で扶養親族に異動があった方は特に注意しましょう。

お宅の受話器ははずれていませんか？



うる電話

## 火災原因No. 1



道路はすべてを知っています。たばこの投げ捨てはやめましよう

## 愛のこ寄付

昭和五十四年十月一日から昭和五十四年十一月八日まで

納入者	故人	地区	金額
森 睦	航一	下新	五万円
木佐貫 悟	ユキエ	下新	三万円
田上シズ	光義	上米	五千元
野口トモエ	亨	下新	二万円
内村善常	アサノ	蓼池	三万円
寿本シヅ	良蔵	山王原	二万円
桑畑 伸	正一	山王原	二拾万円
朝倉兼利	兼規	長田	二万円
長尾昭保	フネ	梶山	三万円
本門久春	ハサ	仮屋	二万円

## 11月の納税 固定資産税 第3期

### 三股町の人口

昭和54年11月1日現在

人口	17,316人	出生	35人
		死亡	9人
男	8,192人	転入	93人
女	9,124人	転出	57人
世帯数	5,321戸		
		前月比	+62人